

くらサポニュース^{NO.}103

発行：地域福祉相談支援センター

2023/5/1

県西地域で交流会が 開催されました

組合員と職員あわせて29名が参加しました。
第1部は「地域の見守りと支援の
大切さ&生前整理」の学習講演、
第2部はグループで交流をしました。

～参加者の声～

- ・サポーター体験等の話を聞かせて頂き、大変
ためになりました。
- ・もっとサポーターを増やして、利用する方も増
やせたらいいと思います。



最近の事例紹介



入院して手術を受けることになった70
代の女性から依頼がありました。

退院後にどの程度、自分で動けるか
わからないので買物や食事作りを1週
間程度して欲しいということです。その
後、無事に退院し、回復状態を
みながらサポートをしました。

(川越市)



羽生市くらサポ開始しました



羽生市新任
コーディネーター紹介

根岸 富美子 さん



高齢になると、今まで出来ていたこと
が出来なくて困っていると言う声が聞
かれるようになりました。

人と人との繋がりを大事にし、「支え
合う、助け合う」という共助の絆を作り、
楽しいサポーター活動を目指したいと
思います。

♪ コーディネーター リレートーク(第4回)



川口市 新井 幸子 さん



コーディネーターになり7年がたち
ます。私のモットーは「トラブルなしで
気持ち良く」です。初めてサポーター
をする方には、「サポーターの皆様
へ」の冊子を一緒に読んで大事な点
を共有しています。

依頼者との面談の中に垣間見える
個人の人生・生きざまや生活環境に
ふれると、わたしの知らない世界が
ここにあると実感します。

地域社会に寄り添い、微力ながら
貢献できるのが私の喜びです。

くらしサポーターは、感染防止を徹底したうえで、活動します。事前の体調確認、
マスク着用、手洗い、消毒など感染予防の基本を励行します。



医療生協さいたま

地域福祉相談支援センター/くらしサポーター事務局

直通電話 048-296-8692